

「ぎょさいでぶらす！安心経営」運動の最終年度がスタート

～「ぎょさい」「積立ぶらす」の浸透・定着へ向けて～

「ぎょさいでぶらす！安心経営」運動の最終年度である平成 25 年度が始まり、4 月の加入実績は「ぎょさい」「積立ぶらす」とも各種目で昨年同月を上回るなど、幸先良いスタートを切りました。

前回のトピックス (http://www.gyosai.or.jp/topics_pdf/topics129.pdf) でお伝えしたとおり、平成 24 年度は、「ぎょさい」史上初の 5,000 億円突破となる 5,026 億円（共済金額）、「積立ぶらす」の漁業者積立額は 154 億円の加入実績を達成することができました。

今年度の加入目標は、「ぎょさい」共済金額で 5,500 億円、「積立ぶらす」漁業者積立額で 175 億円を掲げております。この加入目標の達成に向けて、ぎょさい団体は一丸となって、漁協系統団体、地方自治体、国と連携を図りながら加入推進に取り組んでまいります。

第 1 四半期は養殖共済の契約が集中しており、魚類養殖業の生産現場では、昨年からの養殖魚の価格下落と餌の高騰等で、経営に深刻な影響を受けています。養殖版積立ぶらすでは、平成 24 年度の契約が責任終了を迎え、これから払戻が本格化しますが、多額の払戻になると見込まれています。養殖版積立ぶらすは、漁獲・特定養殖版積立ぶらすに比べ利用の割合が低いことから、より多くの方にご利用頂けるよう、各漁業共済組合では、養殖共済及び漁業収入安定対策事業の加入に向けて、今まさに邁進しているところです。養殖業者の皆様には、養殖版積立ぶらすを積極的に利用し、養殖魚の価格下落による損失に備え、経営安定に役立てて頂きたいと思っております。

「ぎょさいでぶらす！安心経営」運動の総仕上げとして、「ぎょさい」と「積立ぶらす」を全国の隅々まで浸透・定着させることに全力を挙げ、加入推進に取り組みますので、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。